

〔招 聘〕

招 聘 者 (独)物質・材料研究機構 生体材料センター長／大会長 立石 哲也

1074101

会 議 名 第1回 アジアバイオマテリアル会議  
( The 1st Asian Biomaterials Congress )

開催期間 平成19年12月6日～8日

開催場所 茨城県つくば市 つくば国際会議場

被招聘者 中国 四川大学 生体材料工学研究センター 樊 渝江 教授

概 要

これまでアジアには、生体材料に関し、ASBM (Asian Symposium on Biomedical Materials )とAISB (Asian International Symposium on Biomaterials )との2つの会議があったが、両会議の同意を得て、2007年に「第1回アジア統一バイオマテリアル会議」を開催することとなった。本会議には、アジア各国から541名の登録参加者があり、8つのセッションに分かれ、392件(口頭129件、ポスター263件)の研究発表が行われた。

本会議では、皮膚や軟骨等の組織再生を行う細胞基盤材料から薬物送達システムに至るまで、生体材料の全般にわたって最先端研究が発表された。また、その特徴として評価技術・標準化の成果が発表された。再生医療では様々な材料が使用されているが、その基準がなかった。例えば細胞基盤材料に細胞を播いて再生組織を作るが、それが多孔質体である場合、その空孔率の基準がなかった。本会議が、アジアでの生体材料の基準、標準を根づかせるきっかけになったと考えている。各国の高い研究のレベルを象徴するように、口頭発表では質疑応答が活発に繰り広げられ、またポスター会場には、熱心に質問する参加者で溢れかえった。参加者数は、主催者の予想を大きく上回り、会議は盛況のうちに閉会した。

なお、招待講演者である樊教授には、本会議で薬物送達システムに関する講演をしていただいた。また本会議の国際委員として、開催期間中、各国の研究者との交流にご尽力をいただいた。

樊教授の招聘にあたって、貴財団よりご支援をいただき深く感謝いたします。